

モノづくりマネジメント技術革新

～これからの Made In Japan ～

参加のお勧め

“ものづくり”とは日本の製造業と、その精神性や歴史を表す言葉であり、もともとは大和言葉ですが、1990年代後半から企業やマスメディアの間でさかんに使われるようになりました。現在の日本の製造業の繁栄は、日本の伝統文化、固有文化に源を発するという史観であり、“ものづくり”とも言い、“モノづくり”と表記される場合もあります。

このモノづくりにおいて、日本は、品質管理を含めた技術力で優位に立ち、「Made In Japan」の評価を高めて来ましたが、近年、それだけでは物は売れないという時代となり、海外も含んだワールドワイドで考えた場合、日本のモノづくりは今後どうあるべきかが問われている現況にあります。

この度、中国地区品質経営協会では、共にものづくり日本大賞を受賞され、海外市場へも積極的に進出されている株式会社白鳳堂様、寿工業株式会社様にご講演いただき、「これからの Made In Japan」に焦点を当てたシンポジウムを企画しました。

伝統的な筆の製造技術を“極める”ことにより新たな領域を開拓された白鳳堂様、既存技術の“イノベーション”となる独自技術を開発され新たな市場を創造された寿工業様、今回の2つの講演から、今後のモノづくりを考える上でのヒントを掴んでいただき、技術革新について成功要因や課題を学んでいただきたいと思います。

講演の後、参加者と講演者との総合質疑応答を行い、より実りあるシンポジウムにしたいと計画しておりますので、多数のご参加をお願い致します。

日時： 平成22年10月25日(月) 13:30～17:00

会場： 広島商工会議所 1階101会議室（原爆ドーム前電停前）

広島市中区基町5-44 TEL(082)222-6610(代表)

主催： 中国地区品質経営協会

■ プログラム

時間	内容
13:30~13:35	開会挨拶 中国地区品質経営協会
13:35~14:40	講演(1) 「筆は道具なり」 株式会社白鳳堂 取締役 統括部長 高本 光 氏
14:40~14:55	— 休憩(15分) —
14:55~16:00	講演(2) 「世界初のナノ粒子分散装置の開発 ～ナノ粒子実用化への道のりと将来～」 寿工業株式会社 化工機事業部 技師長 工学博士 院去 貢 氏
16:00~16:15	— 休憩(15分) —
16:15~16:55	総合質疑応答 総合質疑司会 広島工業大学 教授 宋 相載 氏
16:55~17:00	閉会挨拶 中国地区品質経営協会

■ 講演概要

「筆は道具なり」

株式会社白鳳堂 取締役 統括部長 高本 光 氏

伝統的な筆の製造技術を活かした「化粧筆」という新たな領域を開拓して新市場を国内外に創出し、店舗展開やインターネット販売、OEM戦略の相乗効果により、自社ブランドの拡大サイクルを定着させた経緯等を紹介するとともに、そのなかで、白鳳堂のものづくりの考え方や組織・工程の改革、社員教育等の取り組みを紹介します。

略歴 1969年 広島県生まれ
1993年 日本大学法学部卒業
1993年 広島銀行入行
2003年 白鳳堂入社 取締役統括部長 現在に至る

「世界初のナノ粒子分散装置の開発 ～ ナノ粒子実用化への道のりと将来 ～ 」

寿工業株式会社 化工機事業部 技師長 工学博士 院去 貢 氏

ナノ粒子分散装置の起源となる粉碎機は、ドイツ、スイスのメーカーが、技術的優位性を保持し、世界規模で販売しています。日本のメーカーの多くは、これらの国から技術を導入し、国内に限定した販売を行っています。27年前、技術導入の目的でスイスの粉碎機メーカーを訪れ、この状況を強く感じ、その後、西欧を凌駕する独自技術の開発と世界をマーケットとすることを常々考えてきました。

この考えのもとで技術開発を進める中、ナノ粒子分散装置を開発し、今まで存在しなかった物性の良いナノ粒子の分散の実現により、市場を創造できました。このことが評価され、現在まで国内外に多くの装置が納入され、夢が実現されつつあります。このナノ粒子分散技術は基盤技術であり、応用範囲は広く、今後、さらに世界に広まることを期待しております。

本講演では、ナノ粒子分散装置の開発に至る経緯と、この装置の性能について紹介します。

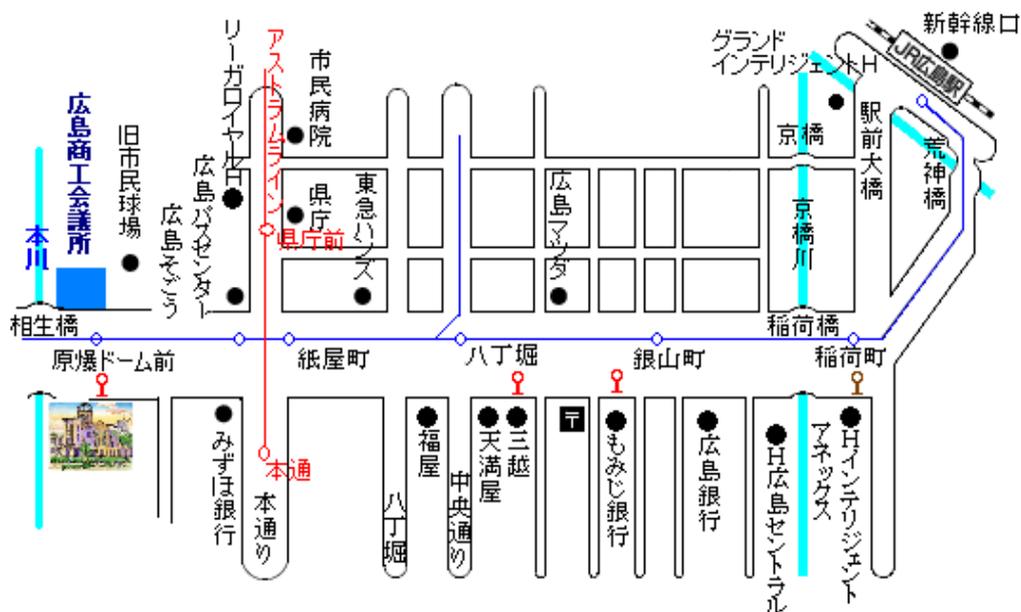
- 略歴 1972年3月 広島大学工学部化学工学科卒業
 1972年4月 寿工業入社。発足間もない化学機械部門に配属。ろ過機の開発に従事。
 1983年 ろ過機から粉碎機の開発へ移る。
 1986年 新型微粉碎機を開発
 1995年 世界初のナノ粒子分散装置の開発に成功
 2007年3月 「微小ビーズを用いたナノ粒子用分散機の開発と性能評価の研究」で広島大学より博士号を授与される。

■ 総合質疑司会

◆ 宋 相載(そうん さんちえ) 氏
 広島工業大学 教授・工学博士

- 略歴 生まれ：韓国 テグ市
 1984年7月来日
 1988年 京都大学大学院 精密工学専攻終了
 1992年 京都大学大学院 博士課程修了 博士(工学)取得
 1992年 広島工業大学 工学部 経営工学科 専任講師
 1996年 広島工業大学 工学部 経営工学科 助教授
 2005年 広島工業大学 工学部 知能機械工学科 教授 現在に至る
 専門分野：生産システム工学、生産管理工学、生産技術、エンジニアリングデザイン、工学教育
 業種：ものづくり関連産業、特に製造業、情報通信産業、サービス業

■ 会場案内



広島商工会議所 1階 101 会議室
 広島市中区基町5-44
 TEL (082) 222-6610(代表)

JR広島駅から電車またはバス
 ・バス停:市民球場前
 ・バス停:広島バスセンター
 ・電停:広島電鉄 原爆ドーム前
 アストラムライン:県庁前

■ 参加要領

【定員】100名程度

【参加費】会員会社 無料（非会員会社 3,000円／一人）

【申込締切日】平成22年10月15日（金）

【申込方法】申込用紙に必要事項を記入のうえ、郵送、FAXまたはeメールで申込み下さい。

キリトリ



シンポジウム「モノづくりマネジメント技術革新」参加申込書

申込先：中国地区品質経営協会

TEL (082)532-6844

FAX (082)532-6845

〒733-0011 広島市西区横川町3丁目5番9号（世良ビル404号）

e-mail; qmac@a1.mbn.or.jp

URL; http://qmac.jp/

会社名	申込責任者: TEL: e-mail:
住所(〒)	
参加者名	所属・役職
参加者（計 名）	受付確認連絡 必要 ・ 不要
参加費（計 円）	請求書発行 必要 ・ 不要

※ご記入頂いた企業・組織および個人情報、参加申込受付処理並びに当協会からのセミナーや行事のご案内のために使用します。